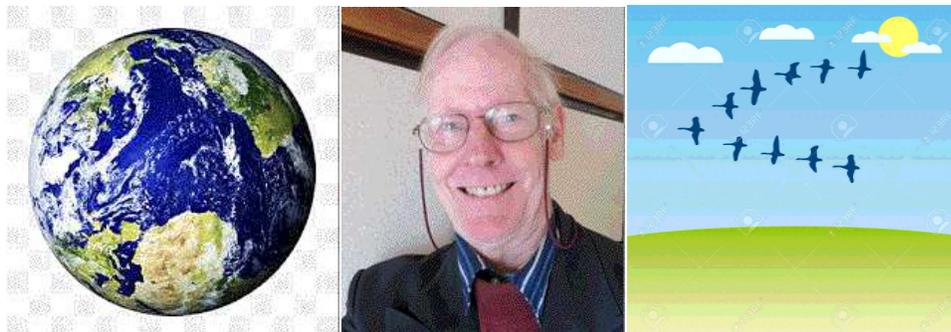


ヘルスアンドサイエンスクロスロード(hascross)からのご案内

生物の多様性と地球環境に関する話題など
マイク・ノートン先生を囲むオンライン談話会(無料)

2月22日水曜日午後8時から9時半まで開催



科学と政策の連携分野で活躍されるマイク・ノートン先生(Prof. Michael G. Norton, 経歴は後記)が英国から来日されました。この機会に先生の講演と先生を囲む談話会を提案しましたところ、快諾を得ましたので、ご案内します。地球温暖化と生物多様性など地球規模の問題への挑戦に関する話題を取り上げ、また長年の先生の日本滞在の印象などのお話を聞きながら意見交換する予定です。

ノートン先生は日本語が堪能です。今回、スライドも大部分日本語で作られました。こちらは一般市民ということを理解いただいていますから、ナイーブな質問や意見も大歓迎です。視聴だけでも結構です。視聴希望の方には URL とパスワードをお知らせしますのでメールください。

地球温暖化と生物多様性に関する最近のノートン先生の講演がネット上に公開されています。このサイトはユーチューブで、再生の速さを変えられ、また英語、日本語の自動翻訳も画面に出るので全容を理解できます。ご視聴を薦めます。

<https://www.kva.se/evenemang/policy-opportunities-for-reducing-climate-change-and-its-impact-on-planetary-and-human-health/>

今回のオンライン会議への参加あるいは視聴をご希望の方へは上記 YouTube での講演のスライドコピーと英語用語の解説集をメールでお送りします。

マイケル・ノートン教授経歴

ブリストル大学卒、化学の理学士・博士。1970-74 年インペリアル・ケミカル社で化学研究に従事後、英国政府の科学サービス事業、特に海洋環境汚染の研究に 8 年間従事。1982 年より 4 年間に在米英国大使館科学アタッシュ。1986 年英国貿易産業省に入省、1989 年英国議会に科学技術局を設立し助言サービスを提供。

1998-2004 年在日英国大使館科学技術参事官。引続き東京工業大学教授として、イノベーションと持続可能開発分野を担当(2004-6 年)。2006 年より信州大学教授、2012 年東北大学教授、2015 年ふたたび東京工業大学に戻り 2018 年まで同大学環境社会学理工学院非常勤特任教授。この間 2015 年より欧州アカデミー科学諮問委員会(EASAC)の環境プログラムディレクターとして、プラスチックから気候変動に至るまで、科学と欧州政策の接点における EASAC の活動を指揮して現在に至る。趣味は探鳥、来日するごとに私どもの千葉の菜園とともに農作業を楽しむ自然派です。

2023. 2. 10.

ヘルスアンドサイエンスクロスロード(hascross) セミナー担当 松村外志張

携帯 080-5464-5365 E-mail toshi@hascross.yokohama
〒232-0071 横浜市南区永田北 1-3-3-1

URL: <https://hascross.yokohama>